

やすらぎ通信

第 87 号（平成 30 年 2 月 1 日） 発行：大阪急性期・総合医療センター

如月(きさらぎ)



(大阪府和泉市 和泉リサイクル環境公園の梅)

<目次>

季節を愛でる	・・・P.1
今月・来月の催し	・・・P.2
管理栄養士のコーナー	・・・P.4
今月のきらりさん	・・・P.5

掲示板	・・・P.6
地域の医療機関の皆様へ	・・・P.8
今月の風景	・・・P.10
編集後記	・・・P.10

季節を愛でる

「うらやまし おもひ切時（おもいきりどき） 猫の恋」 越智 越人

2月の季語に「瀬祭（だっさい）」があります。この季節、瀬（かわうそ）は捕らえた魚を岸に並べ、なかなか食べようとはしません。それがまるで祭りの供え物をしているかのように見えることから、「瀬祭」、「瀬の祭（おそのまつり）」、「瀬魚を祭る（かわうそをおまつる）」という季語が生まれました。また、「瀬魚を祭る」という不思議な季節として、古くは二十四節気「雨水」の七十二候の初候でもありました。転じて、詩文を作るときに多くの資料を周囲に広げ置く様子をさすようになり、正岡子規は、自らを瀬祭書屋主人（だっさいしょおくしゅじん）と号していたそうです。

「瀬祭」というと、日本酒を思い浮かべられる方も多いのではないのでしょうか。山口県にある旭酒造が作られている人気の高いお酒です。酒蔵の所在地が瀬越（おそごえ）という地名であることや明治の日本文学に革命を起こしたといわれる正岡子規のように、変革と革新の中から、より優れた酒を創り出したいとの思いから、酒名を「瀬祭」と命名したとホームページで紹介されています。酒造りには大切な季節であることから、この季節の季語を酒名に付けておられる酒蔵が他にもあります。酒名に込められた思いと共に、品質にこだわり抜いて造られたお酒は、これからも多くの人々を魅了し続けることでしょう。

2月3日は「節分」です。もともと「節分」は、「季節を分ける」という意味合いから、立春、立夏、立秋、立冬といった各季節の始まりの日の前日のことであったようですが、江戸時代以降は、特に立春の前日を指すことが多くなったようです。季節の変わり目には邪気（鬼）が生じると考えられており、邪気を追い払うために、古くから豆撒きの行事が執り行われてきました。そして、まだまだ寒さは厳しいものの、2月4日は立春で、暦の上では「春」ということになります。「下萌（したもえ）」とは、冬枯れの地面から草の芽が顔をのぞかせる様を表すこの季節の言葉ですが、この「下萌」という名前の付いた和菓子があります。お店によって景色の表現の仕方は様々ですが、力強い生命力で萌え出づる若草を表現したお菓子の共通点は、ちょっぴり緑色が使われていることです。僅かな季節の変化も見逃さずに、待ち侘びた「春」の訪れを表現する緑です。そして「椿餅」も楽しみです。源氏物語にも登場するこのお菓子は、一説には、和菓子の起源とも言われています。椿の葉の間に餡入りの道明寺をはさんだものですが、販売される期間が短いお店もありますので要チェックです。

昨今は、空前の猫ブームと言われています。可愛らしい鳴き声にもいくつもの鳴き方と意味があるそうですが、2月22日はその鳴き声にちなんで「猫の日」なのだそうです。冒頭でご紹介した句の季語は、「猫の恋」。猫はうらやましいくらいに、思い切りのよい直情的な恋をします。折しも人間も、猫と同じく恋する思いを相手に伝える季節です。バレンタインデーには、ちょっぴり猫を見習って、素直に気持ちを伝えられるといいですね。



今月・来月の催し

【第26回病院ギャラリー企画展

『須田剋太「街道シリーズ」挿絵原画展～大阪・和歌山編～』

開催期間 12月18日（月）～平成30年3月9日（金）

展示場所 本館2階 病院ギャラリー

展示作品 絵画：24作品

本企画展は、大阪府立江之子島文化芸術創造センターのご協力を得て実施しています。

【すこやかセミナー「家庭でもできる感染対策について」】

日時 2月8日（木） 午後2時～3時

場所 本館3階 保健教室

講師 感染管理看護師 飯野 江利子

参加費 無料



【第52回 万代・夢寄席「桂春団治一門会」】

日時 2月14日（水） 午後2時～3時

場所 本館3階 講堂

出演 桂 花団治 氏、桂 咲之輔 氏

入場料 無料

【相愛大学連携 第78回 外来糖尿病教室 知って得する！糖尿病との付き合い方】

日時 2月21日（水） 午後2時～3時

場所 本館1階 アトリウム

内容 インスリンの治療薬 ～インスリンのポイントまとめました～

糖尿病内分泌内科医師 畑 雅久

シックデイに気をつけること 糖尿病看護認定看護師 後藤 博美

和食 相愛大学 准教授 竹山 育子 氏

参加費 無料

【すこやかセミナー「大腸がんについて ～検診・診断・治療などいろいろな話～】

日時 2月23日（金） 午後2時～3時

場所 本館3階 講堂

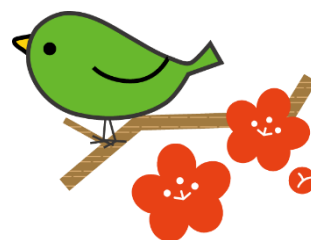
講師 消化器外科副部長 小森 孝通

参加費 無料



【すこやかセミナー「身近な身体の病気にまつわる心の不調」】

日 時 3月8日(木) 午後2時～3時
場 所 本館3階 講堂
講 師 精神科副部長 陸 馨仙
参加費 無料



【府民公開講座「これから出産・子育てをされる皆様へ」】

日 時 3月10日(土) 午後1時30分～3時(午後1時開場)
場 所 本館3階 講堂
内 容 こどもの時からがんを予防しましょう
小児医療センター長・小児科部長 高野 智子
無痛分娩のはなし 産婦人科主任部長 竹村 昌彦
参加費 無料

【相愛大学連携 第79回 外来糖尿病教室 知って得する！糖尿病との付き合い方】

日 時 3月14日(水) 午後2時～3時
場 所 本館1階 アトリウム
内 容 やせる注射?! GLP1受容体作動薬のすべて
糖尿病内分泌内科医師 藤川 慧
インスリンについて 薬剤師 梅原 聡子
減塩のすすめ 管理栄養士 笠井 香織
参加費 無料

【第59回 相愛大学連携コンサート

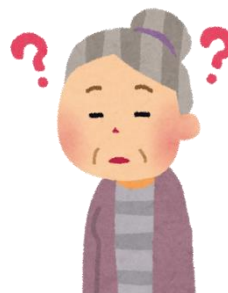
「サクソフォンとマリimba・ヴィブラフォンによる演奏会」

日 時 3月14日(水) 午後2時～3時
場 所 本館3階 講堂
出 演 安 泰旭 氏 (サクソフォン)、吉田 周平 氏 (マリimba)
西谷 夏 氏 (ヴィブラフォン)
入場料 無料



【すこやかセミナー「認知症の方への接し方のコツ」】

日 時 3月23日(金) 午前11時～12時
場 所 本館3階 講堂
講 師 精神科認定看護師 山中 美佐
参加費 無料



～ちょっとおいしい話～

まだまだ寒い日も続き、体調管理に注意したい季節です。

寒い日には温かい汁ものがおらずにぴったりです。

今回は、野菜たっぷりの豆乳豚汁をご紹介します。

豆乳を加えることでまろやかさも増し、豆乳の栄養素も摂ることができます。野菜の下処理に電子レンジを使うことで調理時間も短縮することができ、簡単で、美味しく、体が温まる1品です。



《材料》	(3～4人分)	
里芋	200	g
大根	100	g
にんじん	50	g
ごぼう	50	g
ねぎ	1/3	本
ごま油	小さじ1	杯
豚肉(こま切れ)	80	g
無調整豆乳	400	cc
味噌	大さじ1	杯強
醤油	小さじ1	杯
(A) {	だし汁	200 cc
	酒	大さじ1 杯
	みりん	大さじ1/2 杯



(1人前) エネルギー：271kcal たんぱく質：9.9g 脂質：5.6g 食塩相当量：1.9g

- ① 里芋は皮をむいて一口大、大根は皮をむいていちょう切り、にんじんは皮をむいて半月切りにする。全てを耐熱皿にのせ、ラップをして600Wの電子レンジで5～6分加熱する。
- ② ごぼうはさがきにして水にさらし、水気を切る。
- ③ ねぎは斜め切り、緑の部分は飾り用に斜め薄切りにして水にさらし、水気を切る。
- ④ 鍋にごま油を入れて豚肉と②のごぼうを中火で2分程炒める。
- ⑤ (A)と①を加えて5分程煮る。豆乳と③のねぎの白い部分を加えて一煮立ちしたら、味噌を溶き入れて醤油で味を調える。器によそい③のねぎの緑の部分を飾る。

管理栄養士 堀江 飛鳥

今月のきらりさん

自分の持ち味を生かした看護、すなわち“きらりと光る看護”を行っている当センターの看護師を紹介させていただくコーナーです。

ICU・CCU・SCU 尾崎 尚美 看護師長

私は、ICU・CCU・SCUで看護師長をしています。

ICUでは、心臓血管外科や脳神経外科など侵襲の大きな手術を受けられた患者さんが入室されます。CCUでは、心筋梗塞や心不全、SCUでは脳卒中などで救急搬送された患者さんが入院してこられます。

どの部署も重症で超急性期な患者さんです。患者さんのちょっとした変化も見逃さないよう観察力を磨き、ドレーンなどのチューブが沢山入った状態の患者さんが、少しでも痛みを感じないような動かし方やリハビリテーションを考え、看護を提供しています。また、心電図モニターや人工呼吸器などの医療機器管理も行っています。当部署には、急性・重症患者看護専門看護師、摂食・嚥下障害看護認定看護師がおり、専門的な知識や技術を活用し、より良い看護を患者さんとご家族に提供するとともに、スタッフの教育を行い、質の高い看護が提供できるよう努めています。朝の患者カンファレンスには、医師とともに看護師も参加しています。医師により治療方針が立てられると、看護師は一日の看護計画を立てて、患者さんが重症な状態から一日も早く回復していただけるように緻密な看護を行います。入室時から理学療法士とともに身体的なりハビリテーションや呼吸リハビリテーションをチームで取り組みます。心臓血管外科・心臓内科の患者さんに対しては、心臓リハビリテーションを積極的に取り入れて、早期回復を目指しています。また、超急性期であり医療機器に囲まれた患者さんのご家族には、面会の際にはお声掛けをして、不安なことを少しでも軽減できるようサポートに努めています。ご高齢の患者さんだけでなく、超急性期の患者さんは入院をきっかけに、今までできていた日常生活行動が行えなくなることがあります。ご自身では、退院後の生活は想像しにくいかとは思いますが、ICU・CCU・SCUに入院された時から、今後の生活を見据えMSW（医療ソーシャルワーカー）と連携して、退院されるときに必要な介護の体制が整うように話し合っています。

これからも、医療チーム・スタッフ一同、力を合わせて、安全で信頼される医療・看護を提供していきたいと思えます。



掲示板

【インフルエンザ対策についてのお願い】

12月～3月はインフルエンザの流行期です。高熱・関節痛などの症状や感染力が強いことが特徴です。短期間に多くの方が感染してしまいますので、感染を広げないために、来院の時には、下記の事項へのご協力をお願いします。

咳エチケット

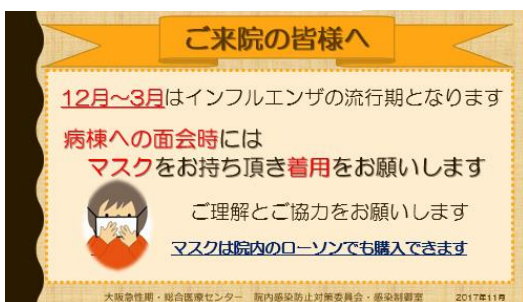


◇発熱や咳等の症状がある時はマスク着用してください。

◇急に咳がでそうになったら、他の人に咳やツバが飛ばないように、口や鼻をハンカチやティッシュペーパーでおおってください。

◇咳やくしゃみの後は手洗いをしてください。

面会時の注意事項



◇発熱のある方の面会をご遠慮ください。

◇インフルエンザ流行期の12月～3月は、マスクをご持参頂き着用してください。

◇病室への出入りの際は、各病室前に設置してある消毒剤で手指の消毒をしてください。

【ボランティア活動のお知らせ】

当センターでは、採血室受付や図書コーナー、入院時の病棟への案内、看護学生のボランティアやクリニックラウンの訪問を受け入れるとともに、リハビリ病棟の長期入院患者さんを対象に、ハンドマッサージ（大阪府鍼灸マッサージ師会の協力）や理髪ボランティア（近隣理髪店の協力）、ピアサポートを実施しています。また、看護学生や保育学生が話し相手や遊び相手のボランティアをしています。

これらの活動状況は、当センターホームページで紹介していますので、是非ご覧ください。また、ボランティアを随時募集していますので、お問い合わせください。

(URL) <http://www.gh.opho.jp/recruit/10.html>

【「医療相談」コールセンターのご利用を ～地域医療連携センター～】

患者さんやご家族などからの医療や病院利用に関するご相談に、看護師が電話で応じてさせていただく「医療相談」コールセンターを開設運用しております。是非お気軽にご利用ください。

電話番号 06-6692-2800 (専用電話回線)

06-6692-2801 (専用電話回線)

相談日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

(年末年始、土・日・祝日除く)

相談対象 医療相談を希望されるご本人若しくはご家族等
相談員 看護師

【診察予約変更センター 9 診療科において

診察の予約日・時間の変更を電話で受け付けています！】

当センターでは、下記の9診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができるよう「診察予約変更センター」を設置しています。是非積極的にご活用ください。なお、このサービスは初診に関しては行っておりませんので、ご注意くださいようお願いいたします。

電話番号 06-6692-1201 (代表)にダイヤルして
「予約変更センター」と言ってください。
受付時間 午後3時～午後5時(平日のみ)
対象診療科 呼吸器内科 消化器内科 糖尿病内分泌内科
皮膚科 形成外科 腎臓・高血圧内科 神経内科
脳神経外科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

【入院治療費や外来での検査費用の

概算を予めお知らせするサービスをしています】

当センターでは、入退院センターにおきまして、ご入院申し込み時に予め標準的な治療を行った場合の概算費用、医療・福祉相談コーナーなどでCT、MRI、RI、エコー検査など検査の概算費用をお知らせするサービスを行っています。

【医療費の支払いはキャッシュカードでできます！】

当センターの医療費自動精算機は、デビットカード対応となっておりますので、ほとんどの金融機関のキャッシュカードでお支払いができます。引き落としの手数料は不要ですので大変便利です。是非ご利用ください。

なお、一般のクレジットカードでのお支払いもできます。

【Facebook ページ開設のお知らせ】

当センターでは、公式 Facebook ページを開設しております。Facebook のアカウントをお持ちでない方でも、ご覧いただけます。

(URL) <https://www.facebook.com/osakageneralmedicalcenter>

※スマートフォンでご覧になる場合は、右の QR コードをご利用ください。



【やすらぎ通信はメルマガで！】

「やすらぎ通信」はメルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページの「メールマガジン申込」からアドレスを登録していただきますようお願いいたします。なお、ホームページの検索は、「大阪急性期・総合医療センター」にて可能です。

地域の医療機関の皆様へ

【病診連携研修会～消化器内科ネットワーク～のお知らせ】

日 時 2月15日(木) 午後6時20分～8時30分

場 所 天王寺都ホテル 6階「吉野の間」

プログラム

○一般講演

講演1「肝炎と、肝がんと」

消化器内科主任部長 薬師神 崇行

講演2「新内視鏡センターのご紹介」

消化器内科部長兼消化器内視鏡センター長 石井 修二

○特別講演

「粘膜治癒を目指した潰瘍性大腸炎の治療戦略」

大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学 准教授 飯島 英樹 先生

【形成外科の診療のご案内】

日本に形成外科が登場してから既に半世紀以上を過ぎているにもかかわらず、医療従事者の方々からも、「形成外科って何？」と問われることがあります。眼科・耳鼻科などのように特定の対象臓器を持たないのもその一因と思われます。

形成外科とは、身体に生じた先天的・後天的組織の異常や変形、欠損、あるいは整容的な不満足に対して、あらゆる手法や特殊な技術を駆使し、機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることによって、生活の質“Quality of Life”の向上に貢献する、外科系の専門領域です。

今回、中でも特に当センター形成外科が得意とする分野を紹介します。

■皮膚腫瘍■

母斑・粉瘤などの良性腫瘍をはじめ、基底細胞がん・有棘細胞がん・メラノーマなどの悪性腫瘍も積極的に治療しております。また、太田母斑・異所性蒙古斑などの「青あざ」の治療もレーザーを用いて行っております。

色素性母斑



治療前



治療後

■下肢静脈瘤■

当センターでは平成18年より形成外科にて下肢静脈瘤の診断から治療までを一貫して行っております。病態に応じて組織侵襲の少ない内翻式ストリッピング術、レーザーによる血管内焼灼術、注射による硬化療法など、患者さんにとって侵襲の少ない手術を心がけてきました。

またさらに、レーザーより安全性が高い、ラジオ波カテーテル治療装置を平成 27 年 3 月よりいち早く導入しております。

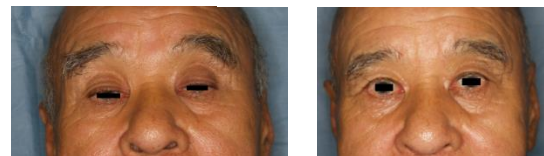


ラジオ波カテーテル治療装置
(コヴィディエンジャパン株式会社)

■眼瞼・眼窩疾患■

老人性・先天性眼瞼下垂をはじめ、内反症、霰粒腫、涙のう炎、鼻涙管閉塞、眼窩腫瘍、眼窩骨折など眼瞼・眼窩にまつわる疾患を積極的に治療しております。

眼瞼下垂



治療前

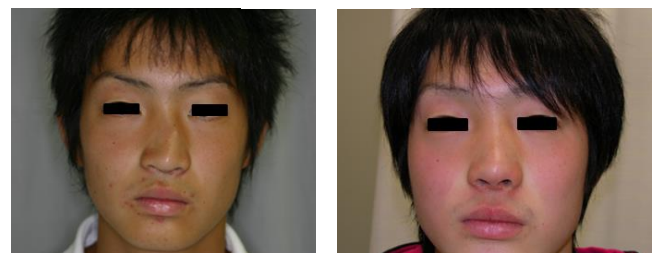
治療後

■顔面骨骨折・外鼻変形■

鼻骨・頬骨・眼窩骨折も形成外科で加療しております。

また、先天的または外傷・手術などによる外鼻変形の治療にも力を入れています。

外鼻変形



治療前

治療後

■再建外科■

顕微鏡下血管吻合などを用いた自家組織移植による頭頸部がん・乳がんの再建やインプラントを用いた乳房再建なども他科と共同で数多く行っております。

■四肢外傷■

四肢外傷治療センターとして救急診療科と共同して主に外傷で生じた四肢の皮膚・軟部組織の再建を行っております。

形成外科診療を通して今後ますます地域医療に貢献していきたいと存じます。上記以外でも形成外科疾患と思われる症例は遠慮なくご紹介いただければ幸いです。

形成外科 主任部長 福田健児

今月の風景



【コメント】

ディズニー映画「ファインディング・ニモ」で有名になったカクレクマノミ。

クマノミがイソギンチャクから出たり入ったりする姿はとても可愛らしく、見ていて飽きません。のんびり癒されたい時に、水族館とかに出かけるのが好きです。

<K・U 氏 撮影「カクレクマノミ」

撮影地：大阪万博公園内の NIFREL（ニフレル）>

編集後記

今月の表紙は、平井 博子 氏よりご投稿いただきました、和泉リサイクル環境公園の梅です。寒い中ゆっくりと咲き始める梅は、少しずつ春の訪れを感じさせてくれますね。

<お願い>

読者の皆様からも、今後の表紙と「今月の風景」を飾る写真の投稿をお待ちしております。ご投稿いただける方は下記宛先までお送りください。

【宛先】 kyuseisogo@opho.jp

【注意事項】

- ・投稿写真はご自分で撮影したオリジナルの作品に限ります。
- ・タイトル、撮影日時、場所についてのコメントをメール本文に記載ください。
- ・作品は著作権、肖像権を侵害するおそれのないものに限ります。

当センターは、当センターが「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。